



創立 150 年 記念 特集

つたえる、つなぐ

—— 博物館広報のあゆみ ——



150th Anniversary Thematic Exhibition *Communicating and Connecting: The History of Public Relations at TNM*

2022年9月27日(火)～11月6日(日) 東京国立博物館 平成館企画展示室

この特集では、創立当時の博覧会で使用された案内の摺物^{すりもの}や、戦後以降のポスターやパンフレット、国立博物館ニュースなどの広報用印刷物をご覧いただくとともに公式ウェブサイトの変遷やSNSによる発信などを紹介し、東京国立博物館が150年の歴史の中で行ってきた、情報をつたえ、人々とつながるための広報活動を概観します。

博物館創立当初、博覧会の会期・会場の告知からはじまり、その後少しずつ展示内容の案内も加わりますが、広く文化財の知識を普及・啓蒙し、博物館への来館を促すようになったのは、戦後「国民のための博物館」とされてからのことです。さらに2001年に博物館が独立行政法人となつてからは、より多くの人に博物館への関心を高め来館へとつなげるべく、多様かつ積極的な広報活動を展開しています。時代とともに変わる広報用印刷物のデザインや表現の変遷、情報発信の変化など広報活動の歴史の一端を通して、一般社会と東京国立博物館とのコミュニケーションの歴史と博物館の歴史の一面をご覧ください。

This thematic exhibition takes a look at publicity campaigns conducted by Tokyo National Museum over the past 150 years. It explores the history of dialogue between TNM and the general public through an examination of how designs, forms of expression and means of communication have changed over time.



「国立博物館ニュース」創刊号 昭和22年(1947)

戦後、博物館の再開とともに、「国民の文化高揚の一環」として発刊しました。「紙上博物館」として機能すべく、毎月の展示案内、講演会の報告や学会の動向についての情報を発信し、「国民との間に精神的な交流を達成」することを企図したものです。



部門別陳列目録と案内



博物館広報のはじまり

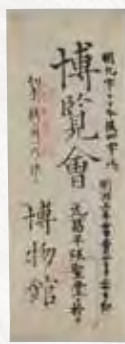
The Advent of Museum Publicity



東京国立博物館は1872年、湯島聖堂大成殿で文部省博物館が行った博覧会開催を創立としています。この博覧会を広く知らせるため、見どころを紹介する摺物を作成・配布、観覧券(当時は観覧切手と呼称)を、東京とその近郊県の行政に配布して来館を促しました。これが広報活動のはじまりです。創立当時は博覧会期など開催概要の告知が主でしたが、1882年に現在の上野に移転し常設施設で連続開館するようになって以降、展示内容も案内するようになりました。帝室博物館の頃までの広報活動は、摺物と観覧券の配布および新聞広告や交通の要所・主要鉄道駅付近での立札による告知が主でした。



博覧会図式 宝来堂 明治5年(1872)



明治五年湯島聖堂博覧会
会広告 観覧券
明治5年(1872)

ポスターによる広報

Posters



Poster



「こどものための文化史展
きもの歴史」
昭和23年(1948)



「ツタンカーメン展」
昭和40年(1965)



創立120年記念 特別展
「日本と東洋の美」
平成4年(1992)



平成館開館記念 特別展
「金と銀—かがやきの日本美術—」
平成11年(1999)

ポスターは、時代ごとに形状やサイズ、デザインが違い、その時々がみられます。ポスターをフルカラーで制作して広く一般に広報するようになったのは戦後のことで、サイズは時代とともにより大型のものが作成されるようになりました。展覧会の宣伝用だけでなく、博物館の周年、あるいは建物改修に伴う展示館の閉館の告知用にも制作しました。

ポスターアーカイブ URL: <https://www.tnm.jp/150th/>

当館が1950年代～2000年代に開催した展覧会ポスターの一部をご覧ください。

令和時代

令和3 2021	令和2 2020	平成28 2016	平成25 2013	平成24 2012	平成23 2011	平成16 2004	平成15 2003	平成13 2001
- 公式キャラクターを使用したLINEスタンプを発売開始 - 中国語版、韓国語版ウェブサイトを、日本語版とのミラーサイト化完了 - 創立150年記念ロゴマーク、記念ビジュアルを発表、創立150年記念特設サイトを開設	東京国立博物館メールマガジンをリニューアルし、文字情報のみから画像付きの配信に変更	東京国立博物館公式Instagramアカウント開設	東京国立博物館公式Twitter・Facebookアカウント開設	東京国立博物館公式キャラクター「トーハクくん」「ユリノキちゃん」誕生	東京国立博物館公式YouTubeアカウント開設	本館展示リニューアルに伴い、ウェブサイトを、館案内パンフレット全面リニューアル	企画部広報室発足	- 学芸部企画課普及室から広報業務を独立させ、企画部事業課広報室発足 「国立博物館ニュース」がタブロイド判、一部カラーから、A4判、全頁カラーへリニューアル(リニューアル第1号は2001年5・6月号第64号) - 東京国立博物館メールマガジンの配信開始

パンフレット

Pamphlets for Museum Guidance



当館を案内する印刷物は、関東大震災後の1924年に表慶館で展示を再開した際、はじめてまとまったものがつくられました。旧本館が損壊し、建て直した本館が開館した1938年には、簡単な構内図と各建物紹介が書かれた「観覧の葉」が無料で配布されました。現在の「ガイドブック」にあたる「東京皇室博物館案内」と題する有料販売の冊子には、構内図、館内図面、各展示室の詳細なみどころ紹介、利用案内が記載されています。現在は「案内と地図」として構内図と各館の平面図、簡単な館の歴史と美術史の時代区分を示したものを、日本語を含む8言語で配布しています。



東京皇室博物館 観覧の葉 昭和13年(1938)



東京国立博物館案内 昭和27年(1952)



東京国立博物館案内パンフレット
平成10年(1998)～令和4年(2022)



東京皇室博物館案内
大正14年(1925)

「日本の顔」として — 空港広告・装飾

Promotions at Airports for International Visitors

羽田空港、成田空港には、東京国立博物館の広告および収蔵品を使用した空港内装飾が設置されています。当館所蔵の文化財が、外国から日本を訪れる人々をお迎えする「日本の顔」としての役割を果たしています。



成田空港第一ターミナル
地下コンコース
(成田国際空港株式会社、
3Mとの共同事業)

京急電鉄羽田空港
第3ターミナル駅(下り)
ホーム柱巻きおよび
ドアステッカー



公式キャラクタートーハクくん、ユリノキちゃん

Tohaku-kun and Yurinoki-chan, TNM's Official Mascots

2012年創立140周年を記念し、東京国立博物館の公式キャラクター「トーハクくん」「ユリノキちゃん」が誕生しました。トーハクくんは館蔵の「埴輪 踊る人々」、ユリノキちゃんは本館前にあるシンボルツリー「ユリノキ」の花がモチーフです。

東京国立博物館
公式キャラクター・広報大使
右：トーハクくん(5歳)
左：ユリノキちゃん(7歳)



略年表 広報活動のあゆみ

平 成 時 代				昭 和 時 代				明 治 時 代				
平成 11 1999	平成 9 1997	昭和 49 1974	昭和 26 1951	昭和 22 1947	昭和 21 1946	昭和 15 1940	昭和 13 1938	明治 42 1909	明治 35 1902	明治 14 1880	明治 5 1872	
● 東京国立博物館公式ウェブサイトを開設	● 東京国立博物館のロゴマークを制定	● 組織改編により学芸部普及課普及室から企画課普及室となる	● 館の事業の普及宣伝を所管する部署として普及課が発足	● 国立博物館ニュース創刊、美術記者クラブ懇談会を初開催	● ラジオによる再開案内放送	● 正倉院御物特別展観「展覧の葉」、英文案内発行	● 「東京皇室博物館復興開館陳列案内」「観覧の葉」発行	● 表慶館報道内覧会開催	● 初の特別展となるパリ万国博覧会展のための目録制作	● 「新聞雑報」を新聞社に配布、上野移転や部分開館などを周知	● はじめて新聞広告で開催告知を行う（日報、報知、朝野）	● 湯島聖堂博覧会の摺物および広告、観覧券発行・配布。立札による開催告知実施（山下門外、幸橋門外、日本橋、両国、四谷内外、横浜駅前、吉田橋）

東京国立博物館公式ウェブサイト Tokyo National Museum Website

当館の公式ウェブサイトは、1995年に試験版が立ち上がり、1999年に平成館の開館に合わせて最初の正式版が開設されました。収蔵品情報の公開や、来館案内、展示・催し物案内を柱とし、常に来館に向けての最新情報を発信しています。2004年に第1回目、2010年に第2回目の大規模リニューアルを行い、2022年はアクセシビリティに対応したデザインとするなど、時代に合わせて使いやすいサイトを目指しています。



初代当館公式ウェブサイト（復元）
平成11年（1999）



平成16年度版
ウェブサイト
平成16年（2004）



SNS Social Networking Service

東京国立博物館は各種SNSアカウントを開設しています。これらを通じて当館の「今」をお伝えします。ぜひフォローしてください。



YouTube
2011年開設



Twitter
2013年開設



Facebook
2013年開設



Instagram
2016年開設



Twitter トップページ

メディアと博物館

博物館の広報は、新聞やテレビなど博物館以外からのさまざまなメディアによる情報発信も大きなカギとなっています。各メディアに正しい情報を提供することは重要な広報業務の一つです。2001年に東京国立博物館が独立行政法人化して広報業務に特化した広報室が設置されて以降、より充実したメディア対応を行っています。近年はマスメディアに加え、ソーシャルメディアなど皆さま個人との関係づくりも重要となっています。

2022年は創立150年です 2022 marks our 150th anniversary!



創立150年記念ビジュアル

2021年11月、東京国立博物館創立150年について報道発表会を行い、記念ビジュアルを公開しました。

「150年後もお待ちしております」というキャッチコピーは、これからも変わらず文化財を守り、未来へ継承し、芸術文化を通して皆さまとつながっていくという当館の姿勢を表しています。

2022年10月18日（火）～12月11日（日）まで、創立150年を記念して東京国立博物館創立150年記念 特別展「国宝 東京国立博物館のすべて」（平成館）を開催します。第1部では、会期中に展示替えをしながら当館が所蔵する国宝89件すべてを公開します。第2部では、明治から令和に至る150年の歴史を、各時代の収蔵作品や関連資料などから辿ります。



東京国立博物館 創立150年記念 特別展
「国宝 東京国立博物館のすべて」



創立150年記念動画 YouTubeにて公開